

Q6 一斉授業での、効果的な配慮は？

まずは
ここから



- ・まずは、この子の認知の特性を理解します（専門家の意見を聞くこともたいへん効果的です）。
- ・この子の認知の特性に合わせた教材準備・授業展開にします（クラス全体に効果が波及します）。

社会科に自信をなくしているサトルさん（中2）への指導事例を紹介します。



社会科の授業は話ばかりで、授業がよくわからない。
期末テストもよくできなかつたし、自信ないんだよね。

学級担任は社会科の担任と話し合い、サトルさんの困っていることを探しました

- ・授業へ集中できるのは、だいたい30分間くらいまでのようだ。
- ・歴史よりも地理の方が好きだと言っていた。
- ・言葉だけの説明は、実は分かっていないのかもしれない。
- ・思考判断が必要な課題は答えの出ないことが多いようだ。
- ・一度に多くの資料があると混乱するようだ。文字だけの資料も苦手かもしれない。
- ・ノートはとるけれど、黒板の通りに写すことが難しいようだ。

学校を訪問したスクールカウンセラーからも助言をしてもらいました

- ・認知処理では同時処理が優れているので、説明する時は図や絵も併用する。
- ・学習課題は、答えがハッキリと明確に出るものも用意する。
- ・具体的に、短く、内容を区切りながら説明する。
- ・今日学習したことを見返せるように、確認用のプリント（宿題）を用意する。
- ・自信がもてるように、できる実感がもてる課題をスモールステップで用意する。

社会科の担任は、これらを基に授業改善にのりだしました

- ① 終了時の板書と同じ形になる学習カードを作り、記入欄には「理解するところ」、「考えるところ」、「グラフをつくる」などの見出しを付ける。
- ② 板書のときは、写真やフラッシュカードなども利用する。
- ③ 資料は色を塗りながら読み取るように助言する（色は数色に限定する）。
- ④ 「ちゃんと」、「しっかり」、「あれ」、「これ」などの曖昧な表現を避け、具体的に説明するように心掛ける。



授業が分かるようになった。楽しいし、自信もついてきた感じがする。



【キーポイント】 高校進学を希望している生徒の学力保障は大きな課題でもありません。教科の特性に応じて様々な工夫が必要になります。子どもの認知の特性を知ることで、工夫をする方向性も分かるようになります。

認知の特性に合わせた教え方は、本人の自信を深めます。